

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
 特定非営利活動法人 JADE－緊急開発支援機構

1 事業の成果

本年度も昨年に引き続き、パレスチナ自治区における保健医療支援事業を実施した（平成26年より継続実施）。支援対象とする地域はいずれも紛争以前より貧困層の住民が多く居住し、近隣に医療機関のない地域である。巡回医療の提供に加え、現地の医療機関や医療従事者の不足に応えるため、本年度より新たに医療ボランティアの育成事業も開始した。

巡回医療を通じて、医師、理学療法士、看護師、薬剤師や検査技師らからなる医療チームが約30,000人の裨益者に対し、必要な治療、理学療法、医学検査及び投薬を行った。この4年間の巡回医療の総裨益者数は10万人を超えるなど一定の成果を上げている。悪化の一途を辿るインフラ状況から発熱や咳、痰を伴う上部呼吸道感染症、頭痛、流行性感冒が多く、また疥癬や寄生虫、皮膚感染症など、上下水道の未整備や劣悪な衛生環境、過密な住環境に起因する感染症の発生も目立つ。身体障がい者に対する理学療法の提供は2年目に入り、リハビリを患者が定期的に受けることで身体機能が改善し、外出したり学校に行けたりするなどの成果が現れている。

医療ボランティア育成事業においては、ガザ地区の約130人の若者を対象に救急法講習を実施、受講者全員に救急法への知識の向上が確認された。講習を修了した若者は地域の診療所に医療ボランティアとして登録され、地域医療に関わっていく仕組みを構築した。これにより、傷病者や急病人の一次対応を行う地域医療の担い手となり、医療従事者の慢性的な不足を改善することが期待される。

パレスチナ自治区の社会経済情勢に大きな改善が見込まれることはないと予想されているため、今後も地域に密着した保健医療支援を継続することで人々が少しでも将来への希望が見出だせるよう、活動を継続していく方針である。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
海外事業 パレスチナ	紛争避難民に対する 保健医療の提供	4月－3月	パレスチナ 自治区	3人	地域住民 約3万人	42,000
海外事業 その他	本年度は実施なし	なし	なし	0人	なし	0

(2) その他の事業

特になし